

1月29日全校生徒との面談が終わりました。昨年は3年生だけしか面談できませんでした。今年は4月5月臨時休業で、6月以降

の開始となりましたが、1、2年生が何を考えているか、どうしたいのかを知りたくなり、担任の先生方にご無理をお願いし、日程表を作成していただき昼休み、放課後を利用して何とか全員の面談を終えることができました。3年生は丁度臨時休業明けということもあり、大会やコンクール、文化祭が中止となり目標を見失った状態での面談スタートとなりましたが、切り替えの早い生徒も多く安心しました。心配だったのは1年生です。オリエンテーションが十分時間が取れない中スタートした学校生活、しかも夏季休業も短く余裕もないのではないかと思います。何人かの生徒はそのことを話してくれましたが、多くの生徒は学校生活に早く慣れていたようでホッとしました。しかしながら学年が下がるにつれて将来的な展望を持った生徒が少なくなり、さらには学習習慣も改善の余地がある状況です。学習意欲を高めるためには、何か自分で決めないと高まりません。将来就きたい職業、進学して学びたい内容等を決めてモチベーションを上げる必要があります。面談ではそういったことを中心に話をしました。進学、就職いずれをとっても自分の可能性を信じ、最大限の努力をして卒業後のことを考えることができるよう導いていく必要を感じました。「やらされる」のではなく「自らやる」です。保護者の皆様と一緒に生徒に向き合えるよう努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

1月30日・31日と奈良県で開催された柔道の近畿大会団体戦。緊急事態宣言下での大会ということでかなり気を遣われたことと思います。何とか無事に開催されましたが、本校もケガや体調不良でベストメンバーが組めず厳しい戦いだったようです。男子は1回戦で大阪のチームに敗退。女子は1回戦不戦勝でしたが、2回戦で敗退。階級ごとの個人戦では力を発揮できてきましたが、団体戦は体格等で戦い方も変わってくるため、まだまだ経験が必要だということです。今回の経験を糧に総体に向かいましょう。お疲れ様でした。



左の写真は広報誌「JA みのり」「かとう」に掲載された本校生徒の記事です。今月は生活科学科3年宮内さんの大豆のパンケーキと味噌ミルクスープが紹介されていました。また、生活科学科の地方創生政策アイデアコンテスト受賞の記事が紹介されました。本校屋上からの写真とともに「加東市を元気にしたい」という思いも掲載され、本校の取組を評価いただいています。高校生のアイデアとともに食からの地域振興のアプローチを続けていければと思います。

2月3日からは推薦入試の願書受付が始まります。今年は、新型コロナウイルスの影響でオープンハイスクールも従来の形

でできず、十分な広報ができたかどうか気がかりです。希望調査等でも動きが読めない部分もありましたので、心配は尽きません。特に体育科は中学校も大きな大会等が中止になり、力を試す機会が減ったことがどう影響してくるのが危惧されます。今週末には人数も確定します。来週1週間かけて準備を進めますが、安心安全に受験していただけるようしっかりと体制を整えていきたいと思います。

さて、2月に入りました。「1月は行く。2月は逃げる。3月は去る。」と言われるように、この時期は時間が過ぎるのがとても早く感じます。日の出時刻もようやく6時台になってきました。2月末までに30分縮まるようです。日の入時刻は17時30分。こちら2月末には30分ほど延びます。2月だけで日の出ている時間が約1時間長くなることになります。春を迎える準備は私たちの身の回りの見えないところで進んでいきます。皆さんは、そういったものを感じられる生活をしていますか？日の出日の入だけでなく、道や田畑の変化、周りの変化に気づくようになってほしいと思っています。そういった気持ちの余裕が気付きを与えてくれます。一度周りを見渡してみてください。

2月2日に政府が緊急事態宣言の延長を決定しました。残念ながら2年生の修学旅行について今年度の実施ができなくなりました。また卒業式、学年末考査の日程が変更となります。詳細は、メール配信、HPでお知らせします。ご確認の上、ご理解とご協力をお願いいたします。